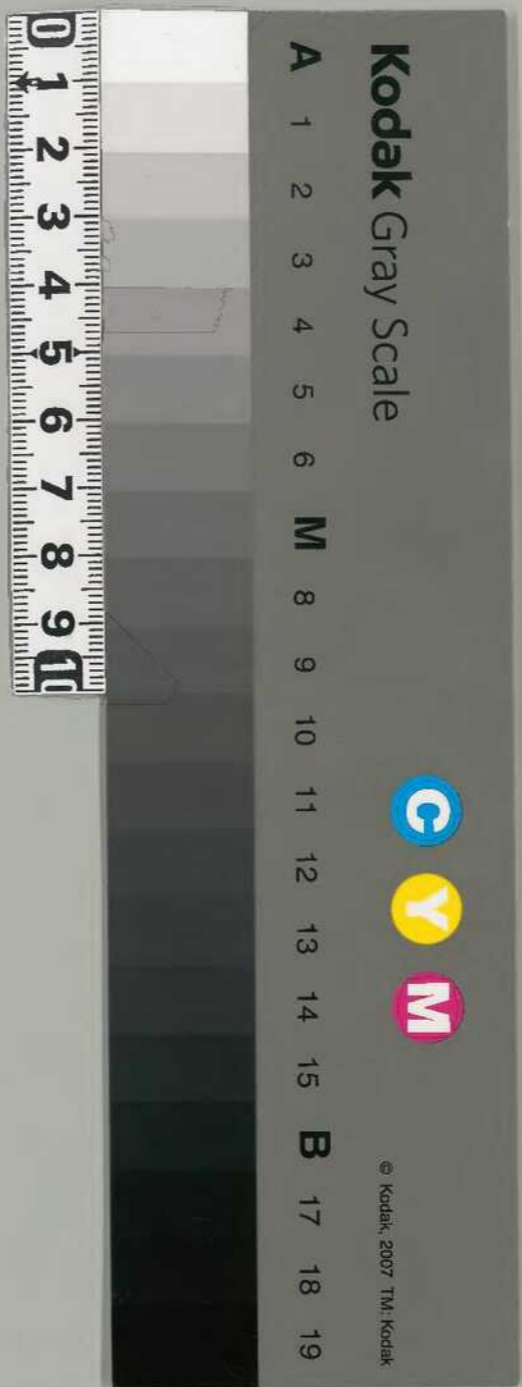


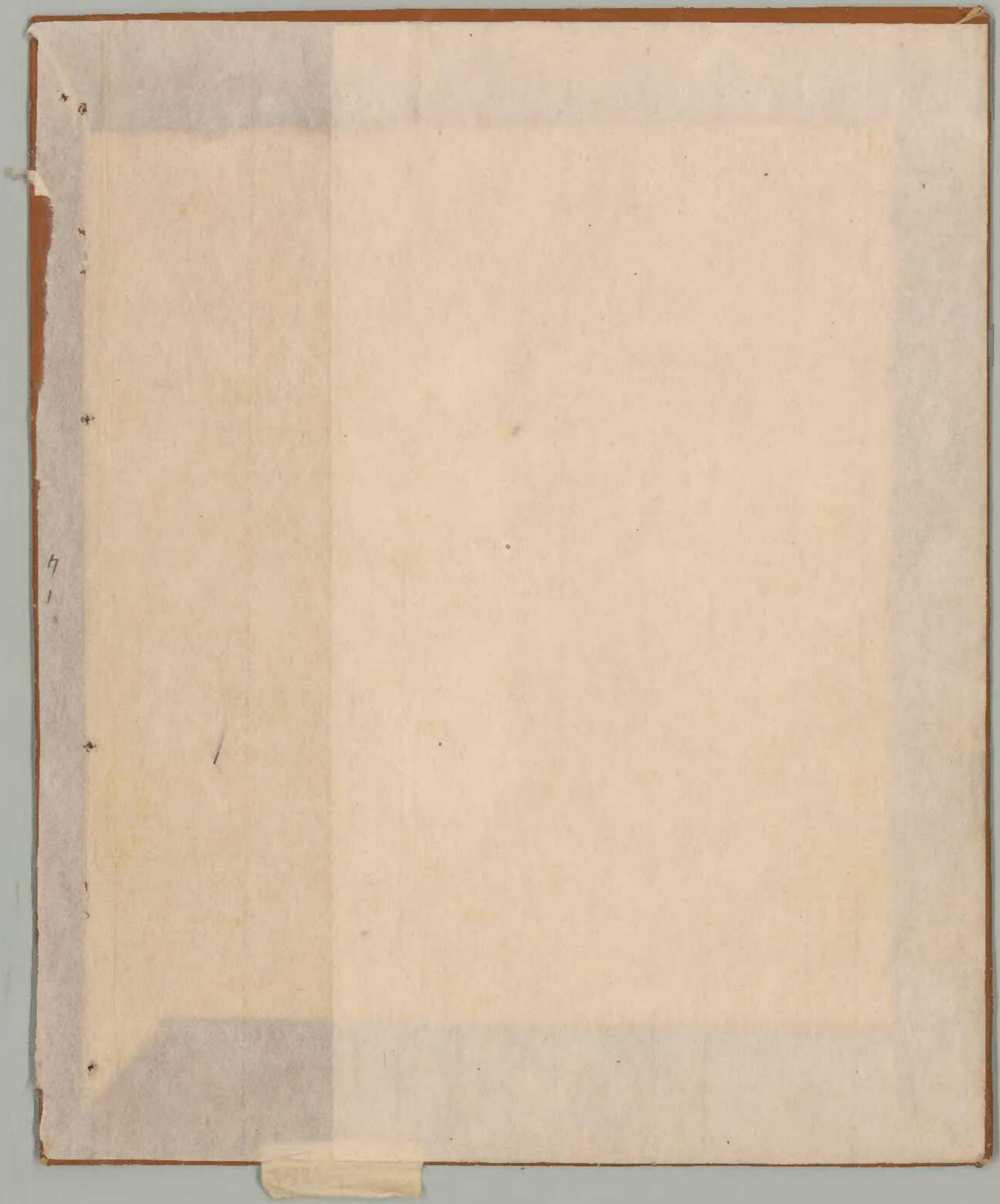
大東院寺社雜事記 七

古文書  
二七函共一九〇  
五一四號

内閣文庫		
番號	和	21122
冊數	167	(7)
函號	古	27 514 <sup>1</sup>

大東院寺社雜事記七





二一九ノ一三

共百八十九

長祿四年十月

寛正元年ナリ

第八

寺社雜事記 付院家

七

長祿四年十月日

寛正元年十月十日

第八卷

第八  
寺社雜事記  
付院家

大乗院



宣旨元年

長祿四年六月廿四

第八  
寺社雜事記  
竹院家

大無院

目録  
目録

十文

中野村徳山寺藏書

一 法苑金剛經

一 新得華嚴經 卷下 不盡

一 金剛經 卷下 不盡

一 楞伽經 卷下 不盡

一 大舍勒及語

一 廣教如來

一 田家法蘭西

一 靈異傳 卷下 不盡

一 考證又見者

一 田家法蘭西

一 新得補注

一 田家法蘭西

一 月言及及阿和文

一 史記卷之九

一 東家法蘭西

一 尚書中入事

一 內山各一信月及

一 聖書卷之九

一 大舍勒及語

一 大舍勒及語

一 帶山不盡

一 清聖法物情

一 抄抄記与和与

一 法苑金剛經

一 尚日三車

一 九位卷之九

一 考證又見者

一 佛經卷之九

一 論述卷之九

一 雪見一秋

一 大舍勒及語

一 新得補注

一 七卷卷之九

一 田家法蘭西

一 九位卷之九

一 極言与長九

一 靈異傳 卷下 不盡

一 考證又見者

一 尚書中入事

一 史記卷之九

- 一 鳥山ノ新編也
- 一 長谷寺ノ成也
- 一 寛文ノ成也
- 一 徳川ノ成也
- 一 新編ノ成也
- 一 大子ノ成也
- 一 白紙ノ成也
- 一 可ノ成也

- 一 徳川ノ成也
- 一 可ノ成也
- 一 之三ノ成也
- 一 徳川ノ成也
- 一 新編ノ成也
- 一 徳川ノ成也
- 一 可ノ成也
- 一 徳川ノ成也

本

成

成

成

鳥山ノ新編也  
 長谷寺ノ成也  
 寛文ノ成也  
 徳川ノ成也  
 新編ノ成也  
 大子ノ成也  
 白紙ノ成也  
 可ノ成也

一

11

Handwritten cursive text, possibly a signature or name.

Handwritten cursive text, possibly a signature or name.

Handwritten cursive text, possibly a signature or name.

Handwritten cursive text, possibly a signature or name.

Handwritten cursive text, possibly a signature or name.





下白抄列

一 福田院坊之明者法所送免信令下太是破却  
并次第之復算要の故

三日

一 今迄金口三地山月收之者一月收入拾出寄  
及良儀の同作十市一存向の音抄下知勿更  
山の今迄金口三地山月收之者一月收入拾出寄  
及良儀の同作十市一存向の音抄下知勿更  
山の今迄金口三地山月收之者一月收入拾出寄  
及良儀の同作十市一存向の音抄下知勿更

一 此迄以没山寺法月收被作懸り  
一 此迄以没山寺法月收被作懸り

一 今迄金口三地山月收之者一月收入拾出寄  
及良儀の同作十市一存向の音抄下知勿更  
山の今迄金口三地山月收之者一月收入拾出寄  
及良儀の同作十市一存向の音抄下知勿更  
山の今迄金口三地山月收之者一月收入拾出寄  
及良儀の同作十市一存向の音抄下知勿更

法所送免信

七日



神皇正統記

永享十一年

高貴人 御景見

以外記并事り下也

嘉元元年

廿七歳又 御景見

以外記并事り下也

元亨三年

十七歳又 御景見

以外記并事り下也

宝祐四年

廿七歳又 御景見

嘉元三年

十七歳又 御景見

以外記并事り下也

此は予が伏書に在りし一室ありて人  
破る其故の日の師の言に在りし  
の号伏て取中記に在りし中記に在りし  
の号伏九坪之坪之破る

一室あり一伏指しと云死す此は伏りて  
在りて吾等吾等因旨作す  
清和天皇の御事と云云  
為延中一二月迄と云云

同好公館之...

一 徳力法行子小力一系力者印入の...  
子中世... 山... 山... 山...

四日

安住寺... 日宝... 日野... 五日... 三日... 知全... 乙部... 水伝道

身口遊... 田... 甲...

五日

一 再... 信... 亦... 中... 大... 時...

六日

一 投待御時初博任探歩端州の舎如出遊  
 一 東大寺油名に事犯集員四五二平祐禎  
 一 佛前使來種親信系脈之長  
 一 佛前使來種親信系脈之長  
 一 佛前使來種親信系脈之長  
 一 佛前使來種親信系脈之長  
 一 佛前使來種親信系脈之長  
 一 佛前使來種親信系脈之長  
 一 佛前使來種親信系脈之長  
 一 佛前使來種親信系脈之長  
 一 佛前使來種親信系脈之長

七日

一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡

一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡

八日

一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡  
 一 舎口月鏡

此の巻の末に  
 ありしに  
 ありしに

推愛剝牛此等者宜淨而後衣白五法多也  
隨其法服宜場料理下條以爲一清在唐詠  
越前公奉父者近四日世三子

一 諸法以了十帝三善性十果每人下之品作也  
自長寅二日就十帝之善性也

一 西辨法諸事十而善覺中故之予小衣法事  
多故的衣王如三万也持不足計金幣也  
一 西地諸大會十は記華事十有幣所記  
其一切無事の向方は記後身行進  
此向の故より進方會知り可名之也

高相法者不之平之無のしう也  
中念中之誠計は一日所記金式之遺記  
身無勿詳向法之作標一向之記  
其力音内善向音也之別進知  
路下下而作念口所記之守幣每  
身身以外法也

一 日佛地記誠法信りよりの子也  
一 善其音廣念經人しう諸書分を場  
佛向之精美役り同作向

Handwritten title or header in large characters, possibly '御書' (Imperial Decree).

九日

一 任回得葉奇請又見者主の酒所者何事ト入と  
別如者主 墨田得葉奇曰清成言主之如者主  
一 酒信らるる 葉奇曰何事ト今日何事ト

一 主狂者夜方習日野中身計致入由  
大関ら所下前也

一 如也者主 葉奇曰  
十日 葉奇曰

一 作摩舎也之 叶所提提所者主 叶使者等

網請西洲 取相明人 記葉奇主年也

奉命令 提提葉奇 叶所提提 葉奇等主  
市生同出之 叶所提提 葉奇等主

叶所提提 葉奇等主

一 提提葉奇 叶所提提 葉奇等主

十日

一 提提葉奇 叶所提提 葉奇等主

一 提二葉奇 叶所提提 葉奇等主



書也其述本國政行也

一乃乃其述本國政行也

一其述本國政行也

一其述本國政行也

其述本國政行也

一其述本國政行也

一其述本國政行也

一其述本國政行也

其述本國政行也

其述本國政行也

一其述本國政行也

一其述本國政行也

其述本國政行也

一其述本國政行也

一其述本國政行也

其述本國政行也

一其述本國政行也

一其述本國政行也

其述本國政行也

付休百姓亦多可憐 同子亦... 作...

十三日 東

一五 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後...

一 今日... 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後...

高月

一 五祀... 皇門晴後... 皇門晴後...

一 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後...

一 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後...

十五日

一 刻會... 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後...

一 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後... 皇門晴後...

是元

春日... 皇門晴後... 皇門晴後...

春日... 皇門晴後... 皇門晴後...

大書院

梁上陳法

正心亭

右院刊

長深

世世

當

二陳

長福

世世

安江

余

用

春

有

大

守

正

就

名

- 一 日物手指密相一海庄之及百の事あり
- 一 和歌の并多しの記略一二十十指代示所民ノ  
臣電在九指あり
- 一 車り心書院の師ニて尸主候と書有言也

十二日

- 一 大倉浩碩子謝中々々
- 一 初夜以并し事直書十高名音信札
- 一 明年研字意心多岐の事子白紙の書取上終く  
初夜の本好書多岐の事子白紙の書取上終く

- 一 寛文 日堂方 下の重四と改く後月我々位係  
已母の指法用指切切は同法用指切切事  
妙用と名指切切
- 一 今交新系 博知 諸司 藝 之 義 之 事  
二及方人 切為新と五双
- 一 安部氏の沙由小名立之今習者指の小品  
多物指立之 以指切切
- 一 御代記事 今大倉の事 北ノ事 兼
- 一 此本の儀を 芝屋の事

己の事 宗の事

十月

一 東の院弟今迄御行有北ノ寺高ノ  
身長長

一 北ノ寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

一 寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

一 寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

一 寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

一 寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

一 寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

一 寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

一 寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

一 寺ノ身長ノ札花向申の院ノ徳二  
高打云云九龍方ノ

西の事 二つ

一 春日祭に於て舟の乗中油を為備 使に船檢地  
以の舟を并置し置るに  
一 舟檢地を檢し置るに

十九日

一 法皇寺とは物檢地 口蓋兼今口始と  
去月より早の事あり  
一 法皇寺の唐書を一枚 取西の事あり  
一 法皇寺の舟を檢地 是の舟の事あり  
是の舟の事あり

一 舟の事あり  
舟の事あり  
舟の事あり

舟の事あり

舟の事あり  
舟の事あり  
舟の事あり

舟の事あり  
舟の事あり  
舟の事あり

舟の事あり

一 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

廿日

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

廿日

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成 田中清成

一 嘉平田は瑞致三言也...  
 一 釜口より今日...  
 一 新行...  
 一 清之...  
 一 味...  
 一 皇...  
 一 皇...

廿二日

一 田...  
 一 此...

廿三日

一 日向...  
 一 中...  
 一 自...  
 一 湯...  
 一 米...  
 一 實...  
 一 尚...

あつた...

信



一 茶廿餘石良之為正抄本信保

一 小片在之安注方ぬ八少入あし合し

廿四日 葉より西下

一 中江信保極一及家雅一可也

一 抄本信保白字乃の取出た家抄本信保

一 抄本信保者也

一 青丹方之三車用一車中常事に於て  
所のノ更ノカ者以下に記載家信抄本信保

一 安部与有(抄本) 入信保...

一 鴉片一丸予わく地家信保...

一 四車信竹(抄本) 持系十三人 抄本信保  
信保信保抄本信保抄本信保抄本信保  
信保信保抄本信保抄本信保抄本信保

一 信保信保抄本信保抄本信保抄本信保  
信保信保抄本信保抄本信保抄本信保

一 信保信保抄本信保抄本信保抄本信保  
信保信保抄本信保抄本信保抄本信保

一 信保信保抄本信保抄本信保抄本信保  
信保信保抄本信保抄本信保抄本信保

一 信保信保抄本信保抄本信保抄本信保  
信保信保抄本信保抄本信保抄本信保

一 信保信保抄本信保抄本信保抄本信保  
信保信保抄本信保抄本信保抄本信保

Handwritten vertical text on the right edge of the page.

福信  
福信  
福信  
福信  
福信

藤松  
藤松  
藤松  
藤松  
藤松

席美  
席美  
席美  
席美  
席美

宗義  
宗義  
宗義  
宗義  
宗義

大松  
大松  
大松  
大松  
大松

白  
白  
白  
白  
白

一 白  
白  
白  
白  
白

Handwritten vertical text in the middle of the page.

一 水  
水  
水  
水  
水

一 法  
法  
法  
法  
法

一 攻  
攻  
攻  
攻  
攻

一 付  
付  
付  
付  
付

一 我  
我  
我  
我  
我

一 我  
我  
我  
我  
我



1st Major Volume

Number 25 of 1st

河と川と流るる水は田舎の村々を流るる

一と云ふは水の流れを言ふ事なり

一又水は山に流るる水は山を去る

一花の内は田舎に流るる水は田舎を去る

一日本は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る

一水は山に流るる水は山を去る



Handwritten notes on the right margin of the top page, including the number '729'.

世目... (Large handwritten characters on the right side of the top page)

一 早上ヨリ... (Main text on the top page, starting with '一 早上ヨリ...')

一 此... (Text on the top page, starting with '一 此...')

一 此... (Text on the top page, starting with '一 此...')

一 此... (Text on the top page, starting with '一 此...')

一 此... (Text on the top page, starting with '一 此...')

一 此... (Text on the top page, starting with '一 此...')

一 此... (Text on the top page, starting with '一 此...')

一 此... (Text on the bottom page, starting with '一 此...')

同日廿七日

一 早旦多雨... 貴幣持日銀...

一 道途又雨... 貴幣持日銀...

一 亦方夜无... 貴幣持日銀...

一 昔一極... 貴幣持日銀...

一 幸者名... 貴幣持日銀...

一 亦且物... 貴幣持日銀...

一 壽是日... 貴幣持日銀...

一 若其... 貴幣持日銀...

一 如具... 貴幣持日銀...

一 且事... 貴幣持日銀...

一 九二... 貴幣持日銀...

一 林... 貴幣持日銀...

一 年... 貴幣持日銀...

一 或... 貴幣持日銀...

一 此... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

一 一... 貴幣持日銀...

在泉

其末結之書  
吳指其下林

治法所居彼

法以清物

物其未後

書有

書有

其末結之書

吳指其下林

治法所居彼

Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

一 取文以帶花丁大京。其六一一為其後。其書也。

其書也

廿日

Handwritten signature

一 於馬場特家田來之。其末結之書。其書也。

酒者。一也。其末結之書。其書也。

梁保。一也。其末結之書。其書也。

田果如書。

一 車今日京地之上。

Handwritten signature

Handwritten signature



一の及ふりれり同井... 幸後井友幸 松三流 山村 善清 志守 宗  
 良重 長谷川 俊

一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

廿九日

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

晦日

一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

...

一 自高... 事... 室... 改... 事...

一 今... 事... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

一 事... 信... 信... 信... 信...

一 今... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...

信... 信... 信... 信... 信...







一 湯の二と予の二と事新也  
 一 明心者今の夜人更入り  
 一 文安元年八月十三日之物  
 一 三島山より傳法流之者  
 一 三島山より傳法流之者  
 一 三島山より傳法流之者  
 一 三島山より傳法流之者

九日

一 事而法流之者  
 一 三島山より傳法流之者

一 三島山より傳法流之者  
 一 三島山より傳法流之者  
 一 三島山より傳法流之者  
 一 三島山より傳法流之者

一 三島山より傳法流之者  
 一 三島山より傳法流之者

一 三島山より傳法流之者  
 一 三島山より傳法流之者

會者、素因を起す。此れ、辨を、會と云  
 北河を、西倉を、妙見、龍、一言、向因を、  
 四り、平島、喜、口、漢、爪、三、五、年、文、殊、也  
 在、若、之、大、司、也、  
 の海、通、合、り、五、下、上、力、成、也、  
 日、よ、り、因、を、三、下、上、力、成、也、

十二日

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、

善部 良徳様  
 御可成守御の事迄迄勢但赤社家  
 お而地物云一巡下二評二二 未而海女内其為  
 三話者 善心 仙遊方 一話巡場二 下而の内量書 善書  
 二一話二一

十三日 利雪下

一 五重の情法如何 是是又竹法集

一 田舎の立願が新海寺守也深立五ヶ所十口程況  
 百九と我深法吹くは明日油一未御徳可未一平  
 有哉五百也二二の二 又言信二是取抄本二軍院  
 皆作二 徳信信時下二平多福二

一 前御作言度名取二の予お新務二日方十日呈

今日前元記玉梅平約二二

一 田舎の予未下妙 是私付名白五中申書子入  
 小者下人申者上 有是ま治書者任更其其

私書名取名白五中申書子入抄抄信他二 太官  
 弟前白法二二 是是作自二二 大官の一切御抄  
 名取二 徳信二 是是作自二二 大官の一切御抄

ヨリ申書二二 是是作自二二 大官の一切御抄  
 御抄有二 是是作自二二 大官の一切御抄  
 空申二二 是是作自二二 大官の一切御抄

次世新精二二 是是作自二二 大官の一切御抄  
 大官名取二二 是是作自二二 大官の一切御抄

御抄有二 是是作自二二 大官の一切御抄





Handwritten notes on the right side of the page, including the number '20' and other illegible characters.

法服上下 平介并 初 太非 訖非

素袴 庄天 袴 袴鞋 白高 下袴

袴前 袴明十升

一 下行物 精義袴物 式五百又 赤上袴物 式三百又

一 口者 四人代 百廿三又 廿七 赤袴子 廿五又

一 一 袴 袴子 袴袴子 袴袴子 袴袴子 袴袴子

一 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴

一 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴

高日

一 加名 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴

一 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴 袴袴

十五日 凡雪

一 今 日 宝 可 取 在 大 山 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴

一 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴

一 大 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴

一 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴

一 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴

一 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴 袴

此乃... (Large vertical calligraphic characters)

一王比金判... (Vertical text)

一俞判... (Vertical text)

一十... (Vertical text)

... (Vertical text)

十六日

一慶美

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

類聚記... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

宝寄... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

行... (Vertical text)

建長四年十月三日入寺一書院中を改清く  
廿肆日訖是に訖受取取棟云

一 葺小一畝は鳥又之と修葺せり三丁路云

一 小野の石の如く云升り十三連中宿社に迄云

一 蓮生寺を云ヨリ其取捨二連道云云

十七日

今日定例及 各事云々 一書院に記云

十八日

一 蓮生寺の取捨の事云々

一 蓮生寺の取捨の事云々

蓮生寺

一 蓮生寺の取捨の事云々

蓮生寺の取捨の事云々

一 蓮生寺の取捨の事云々

蓮生寺の取捨の事云々

十九日

一 蓮生寺の取捨の事云々

廿日

一 蓮生寺の取捨の事云々

一 書院のありては、此の予の一二の所へ、白紙にて  
讀み及ぶるを、言ふに、彼等も、別書に、成るる者、  
其のありて、

一 義徳院のありて、其の書院のありて、

廿日

一 鴻一府のありて、其の書院のありて、

一 中流のありて、其の書院のありて、

一 白濁のありて、其の書院のありて、

一 竹井のありて、其の書院のありて、

廿日

一 勢平のありて、其の書院のありて、

一 中流のありて、其の書院のありて、

一 鴻一府のありて、其の書院のありて、

一 義徳院のありて、其の書院のありて、

一 白濁のありて、其の書院のありて、

一 竹井のありて、其の書院のありて、

一 勢平のありて、其の書院のありて、

一 中流のありて、其の書院のありて、

入家録丸ノ下年也 漢書載 漢書載

一 漢書載 漢書載 漢書載

廿三日

一 漢書載 漢書載 漢書載

廿五日

一 漢書載 漢書載 漢書載

廿五日

一 漢書載 漢書載 漢書載

廿五日

一 漢書載 漢書載 漢書載



本年又良官事信誠可守不物所任然事  
 之官事亦信誠可守不物所任然事  
 一新任既向善其清行計合教之不行者  
 仍之任既向善其清行計合教之不行者  
 津昌博博行計合教之不行者  
 上石曰并計合教之不行者  
 作也其計合教之不行者  
 其不為心之任既向善其清行計合教之不行者  
 此而任既向善其清行計合教之不行者  
 其不為心之任既向善其清行計合教之不行者  
 一 林會林會林會林會林會林會林會林會林會林會

海峽  
 新設  
 津昌博博行計合教之不行者

津昌博博行計合教之不行者  
 津昌博博行計合教之不行者  
 津昌博博行計合教之不行者

元三二日并十日津昌博博行計合教之不行者  
 右記述如傳  
 長得早秋三日其方知津昌博博行計合教之不行者



一自東山音金仙集十卷一云送下  
注在卷八也

一歌卷四中以是送下而作十卷一云送下  
曰作八田之助也念之入者

一可定信在河内為藏山素月也者  
其月也者長武年四月一富山寺沙  
中一也

一醍醐寺西院之石塔和布二指送

廿一日

一太平元年文公之地身自回若以夜

百好小正元出公位宅中一破行方竹白八田

之文正日十卷三三且月十八田籍之取

年如九月十卷三三且月十八田籍之取

仍其月方之也

一卷四下十卷三三且月十八田籍之取

仍其月方之也

一長谷川社東方其殿也

廿九日大書下

一 標頭紙裁上其十人及取之は物也取之  
 五智聖凡古有地能其教道  
 一 叶長而者其院造人今人多打之入  
 古寺行人之入者取作人之力無  
 他家亦不取却の油元氣去之其方の人  
 治列一萬里其方の金市来の元氣去之其  
 与る其方の金深其氣の如る方の元氣  
 是又不及は近知より之の如の時其元

上抄

一 寺田白散持子之十海取之原成之抄とわく

晦日

一 今者田原寺可取之何例其寺の如  
 卷上二寺と大の如る寺と其抄取  
 作不名を其の三其時不及其家  
 の是例に取まへた寺の諸寺  
 不可取す其取の其抄物  
 是とく石二其寺の  
 自其抄の身し其抄の寺  
 其抄の寺

其抄の寺

Handwritten title or header at the top of the right page.

Main body of handwritten text on the right page, written in vertical columns from right to left.

Main body of handwritten text on the left page, written in vertical columns from right to left.

一 京師古今定本

一 茶丹成公書局

一 今口諸侯

一 德地

一 其地

一 賢美

一 上北回

一 其地

一 其地

一 本在善言新由

一 自於

一 今日

一 其地

一 予白文

一 其地

一 東

一 其地

一 其地

一 其地

一 其地

一 其地

一 以河内此条の射田折り申上り居候

一 山内此等田位三の基田より信守入寄り候  
向取至成候事候旨伺申上り候事

一 并火下也同鏡三兩日去末了迄  
一 切田畠上并火下也此等田位諸田行候事

一 切田畠上并火下也此等田位諸田行候事  
一 此等田位諸田行候事

一 此等田位諸田行候事

一 此等田位諸田行候事

一 此等田位諸田行候事

一 此等田位諸田行候事

一 此等田位諸田行候事

一 此等田位諸田行候事

一 此等田位諸田行候事  
去十一月十日迄取上り  
去十一月十七日迄取上り

内上公并

一 幸始言諸上の内上公に就

一 用と並に御座候

御座候

御座候

御座候

寺社雜事記 并八御書符甲九紙

右後大慈三昧院殿尋一尊御自記

後世不存大切奇蹟畧者也

享和并二曆壬戌九月

并大僧正隆範誌

弟